

第13期末（2026年7月10日）	
基準価額	15,407円
純資産総額	138百万円
第8期～第13期 (2026年1月14日～2026年7月10日)	
騰落率	16.7%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ高株主還元 日本株ファンド (毎月決算型)

【愛称】高還元ジャパン

追加型投信／国内／株式

運用報告書(全体版)

作成対象期間：2026年1月14日～2026年7月10日

第8期(決算日2026年2月10日) 第11期(決算日2026年5月11日)
第9期(決算日2026年3月10日) 第12期(決算日2026年6月10日)
第10期(決算日2026年4月10日) 第13期(決算日2026年7月10日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ高株主還元日本株ファンド（毎月決算型）」は、このたび第13期の決算を行いました。

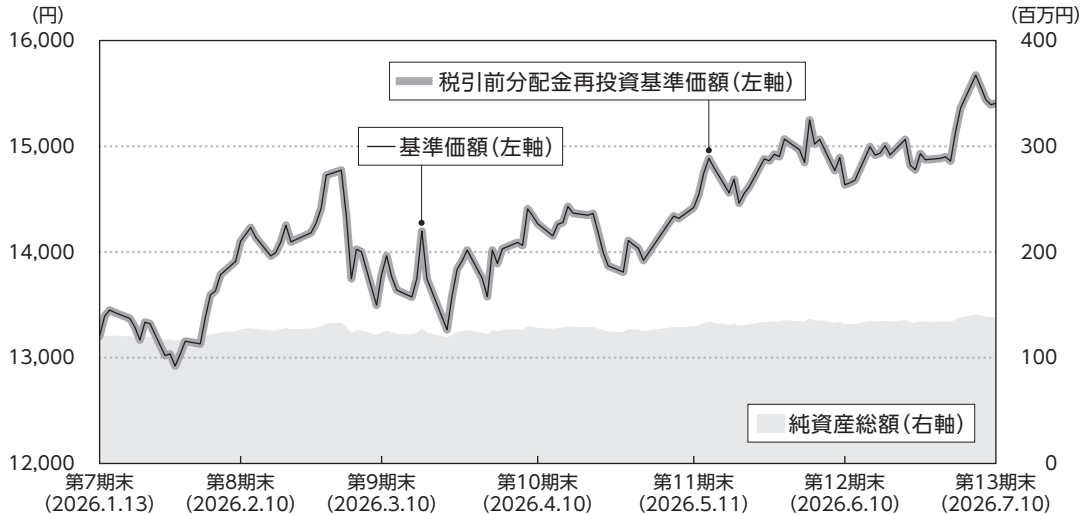
当ファンドは、「ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、国内の金融商品取引所に上場している株式のなかから、配当と自社株買いに着目し、総還元利回りが高い30銘柄程度に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2026年1月14日～2026年7月10日

基準価額等の推移



第8期首	13,205円	既払分配金	0円
第13期末	15,407円	騰落率(分配金再投資ベース)	16.7%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 1月下旬から2月にかけて、高市内閣の政策推進への期待などを背景に株価が上昇したこと
- ・ 4月から6月にかけて、米国とイランの停戦期待や堅調な国内企業業績などを背景に株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬から下旬にかけて、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇により物価上昇懸念が高まったことから株価が下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第8期～第13期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	48円	0.337%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は14,245円です。
(投信会社)	(23)	(0.161)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.161)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	0	0.000	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	1	0.005	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	49	0.343	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

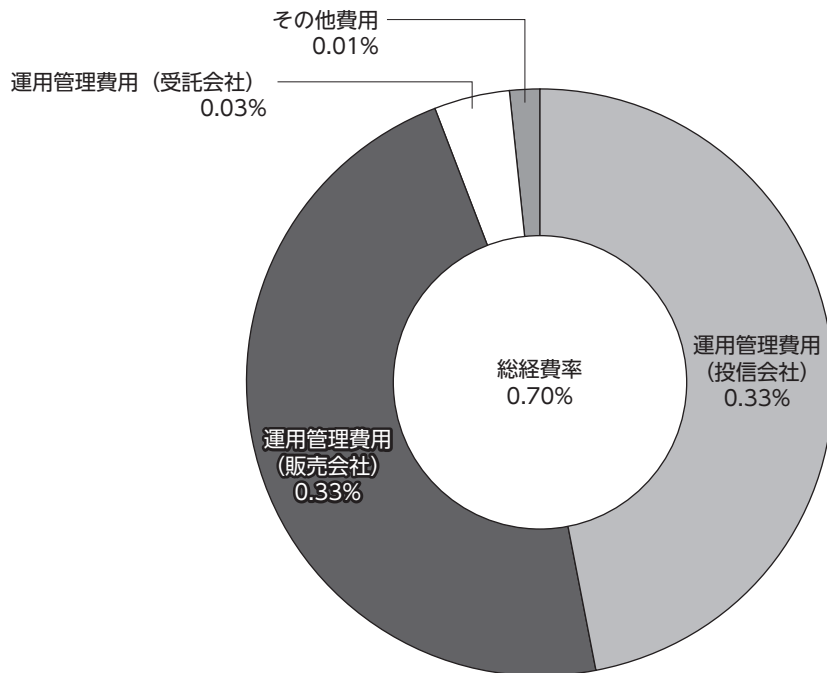
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.70%**です。



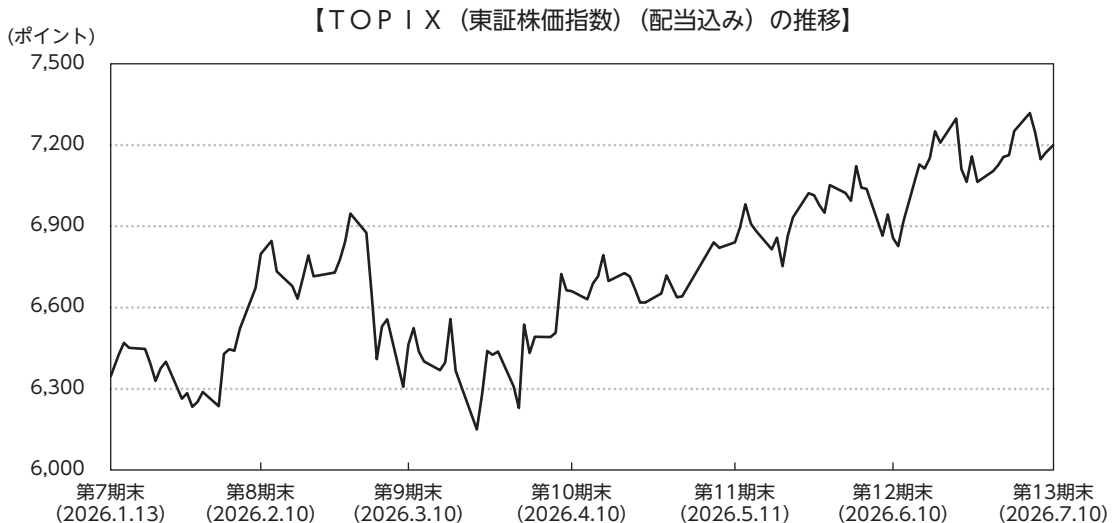
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

国内株式市況



(注) FactSetのデータを使用しています。

国内株式市場は当作成期を通じて見ると上昇しました。

当作成期初より高市政権の政策推進への期待が強まり、半導体関連銘柄などを中心に株価は上昇しました。

しかし、3月の中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇により物価上昇懸念が高まったことから、下落に転じました。

4月から6月にかけては、米国とイランの停戦期待や堅調な企業業績などが支えとなり、再び上昇基調が続きました。

当作成期末にかけては、半導体やAI関連銘柄のこれまでの急上昇に対する利益確定売りや地政学リスクの再燃で軟調に推移しましたが、当作成期初を上回る水準で当作成期末を迎えました。

ポートフォリオ

■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（なお、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係等から、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

国内の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます）している株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行いました。

当作成期も国内の株式のなかから、配当と自社株買いに着目し、総還元利回りが高い30銘柄程度に投資しました。

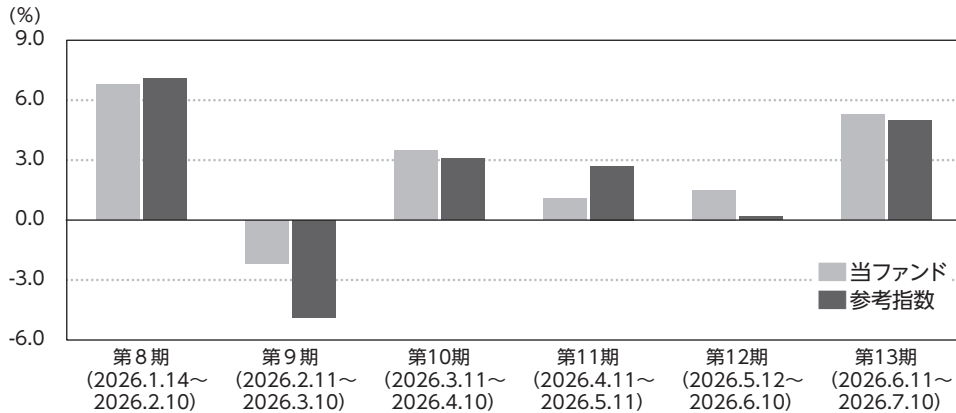
また、6月末時点における総還元利回りは6.6%、配当利回りは2.9%となっています。

（注）総還元利回りは時価総額に対する配当額と自社株買い額の合計（＝総還元）を評価する指標であり、各種データに基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主な売買銘柄は以下の通りです。

	銘柄	判断理由等
買付	クレディセゾン、王子ホールディングス、ネクソンなど	投資ユニバース内における総還元利回りが高いため
売付	セイコーエプソン、NIPPON EXPRESSホールディングスなど	投資ユニバース内における総還元利回りが低い

参考指数との差異



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はTOPIX（東証株価指数）（配当込み）です。

当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+16.7%となり、参考指数騰落率（+13.5%）を上回りました。

これはマザーファンドの個別銘柄選択においてシチズン時計、INPEX等がプラスに寄与したことなどによるものです。

（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第8期 2026年1月14日 ～ 2026年2月10日	第9期 2026年2月11日 ～ 2026年3月10日	第10期 2026年3月11日 ～ 2026年4月10日	第11期 2026年4月11日 ～ 2026年5月11日	第12期 2026年5月12日 ～ 2026年6月10日	第13期 2026年6月11日 ～ 2026年7月10日
当期分配金（税引前）	—	—	—	—	—	—
対基準価額比率	—	—	—	—	—	—
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	4,106円	4,106円	4,266円	4,421円	4,636円	5,407円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 今後の運用方針

■ 当ファンド

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内の金融商品取引所に上場している株式のなかから、配当と自社株買いに着目し、総還元利回りが高い30銘柄程度に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■ マザーファンド

国内の金融商品取引所に上場している株式のなかから、配当と自社株買いに着目し、総還元利回りが高い30銘柄程度に投資を行います。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第13期末 2026年7月10日
ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

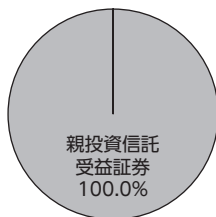
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

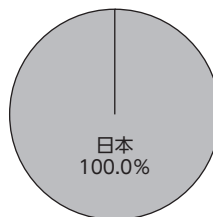
項目	第8期末 2026年2月10日	第9期末 2026年3月10日	第10期末 2026年4月10日	第11期末 2026年5月11日	第12期末 2026年6月10日	第13期末 2026年7月10日
純資産総額	126,917,282円	124,090,386円	128,401,298円	129,791,801円	131,727,969円	138,665,413円
受益権総口数	90,000,000口	90,000,000口	90,000,000口	90,000,000口	90,000,000口	90,000,000口
1万口当たり基準価額	14,102円	13,788円	14,267円	14,421円	14,636円	15,407円

(注) 当作成期間（第8期～第13期）中における追加設定元本額および同解約元本額は0円です。

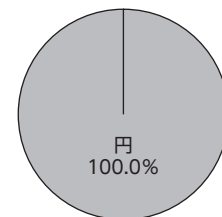
資産別配分



国別配分



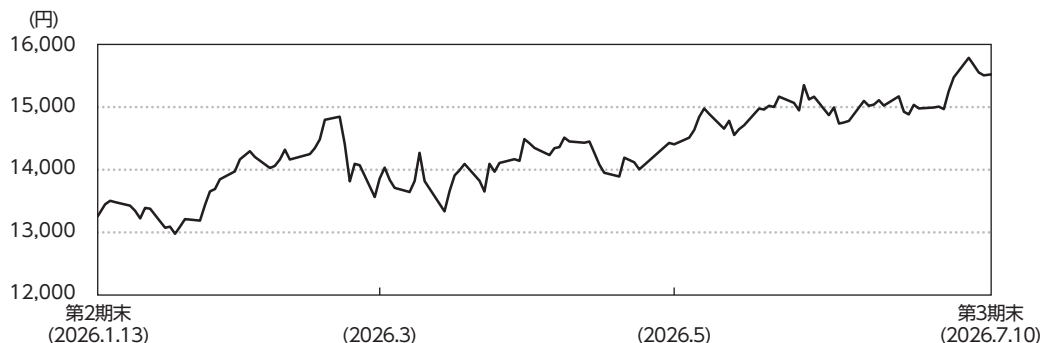
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2026年7月10日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ高株主還元日本株マザーファンドの概要

■基準価額の推移



■上位銘柄

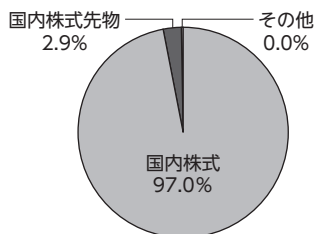
銘柄名	通貨	比率
三菱自動車工業	円	3.6%
野村ホールディングス	円	3.4
大日本印刷	円	3.4
いすゞ自動車	円	3.4
TOPPANホールディングス	円	3.4
ヤマトホールディングス	円	3.4
ジェイテクト	円	3.3
クレディセゾン	円	3.3
ネクソン	円	3.3
オリンパス	円	3.3
組入銘柄数		31

■1万口当たりの費用明細

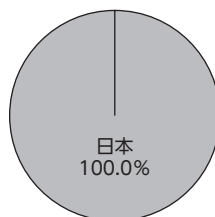
2026.1.14～2026.7.10

項目	金額
売買委託手数料	0円
(先物・オプション)	(0)
合計	0

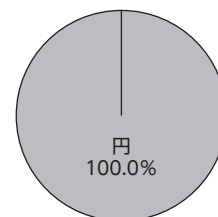
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2026年7月10日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	参考指数	期中 騰落率	株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円		%	%	%	百万円
2025年6月23日	10,000	－	－	10,000	10,000	－	－	－	90
1期(2025年7月10日)	10,211	0	2.1	10,211	10,161	1.6	91.2	9.2	91
2期(2025年8月12日)	11,075	0	8.5	11,075	11,080	9.0	91.2	9.2	99
3期(2025年9月10日)	11,552	0	4.3	11,552	11,352	2.5	94.0	6.0	103
4期(2025年10月10日)	11,446	0	△0.9	11,446	11,664	2.7	95.1	3.1	103
5期(2025年11月10日)	11,883	0	3.8	11,883	12,102	3.8	95.1	3.1	106
6期(2025年12月10日)	12,578	0	5.8	12,578	12,367	2.2	95.4	3.0	113
7期(2026年1月13日)	13,205	0	5.0	13,205	13,149	6.3	95.8	3.0	118
8期(2026年2月10日)	14,102	0	6.8	14,102	14,087	7.1	96.0	3.0	126
9期(2026年3月10日)	13,788	0	△2.2	13,788	13,392	△4.9	96.1	3.0	124
10期(2026年4月10日)	14,267	0	3.5	14,267	13,801	3.1	97.0	2.9	128
11期(2026年5月11日)	14,421	0	1.1	14,421	14,175	2.7	97.0	3.0	129
12期(2026年6月10日)	14,636	0	1.5	14,636	14,209	0.2	97.1	2.9	131
13期(2026年7月10日)	15,407	0	5.3	15,407	14,920	5.0	97.0	2.9	138

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 参考指数はＴＯＰＩＸ（東証株価指数）（配当込み）であり、設定時を10,000として指数化しています。

(注5) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注6) 先物比率は買建比率－売建比率です。以下同じです。

(注7) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注8) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

(注9) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日		基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	株式 組入比率	株式 先物比率
第8期	(期首)	円	%		%	%	%
	2026年 1 月13日	13,205	－	13,149	－	95.8	3.0
	1 月末	13,156	△0.4	13,031	△0.9	95.9	3.0
	(期末)						
第9期	2026年 2 月10日	14,102	6.8	14,087	7.1	96.0	3.0
	(期首)						
	2026年 2 月10日	14,102	－	14,087	－	96.0	3.0
	2 月末	14,726	4.4	14,395	2.2	96.1	3.0
第10期	(期末)						
	2026年 3 月10日	13,788	△2.2	13,392	△4.9	96.1	3.0
	(期首)						
	2026年 3 月10日	13,788	－	13,392	－	96.1	3.0
第11期	3 月末	13,578	△1.5	12,908	△3.6	95.0	2.9
	(期末)						
	2026年 4 月10日	14,267	3.5	13,801	3.1	97.0	2.9
	(期首)						
第12期	2026年 4 月10日	14,267	－	13,801	－	97.0	2.9
	4 月末	14,034	△1.6	13,756	△0.3	97.0	3.0
	(期末)						
	2026年 5 月11日	14,421	1.1	14,175	2.7	97.0	3.0
第13期	(期首)						
	2026年 5 月11日	14,421	－	14,175	－	97.0	3.0
	5 月末	15,068	4.5	14,613	3.1	97.1	2.9
	(期末)						
第14期	2026年 6 月10日	14,636	1.5	14,209	0.2	97.1	2.9
	(期首)						
	2026年 6 月10日	14,636	－	14,209	－	97.1	2.9
	6 月末	14,900	1.8	14,767	3.9	96.8	3.0
第15期	(期末)						
	2026年 7 月10日	15,407	5.3	14,920	5.0	97.0	2.9

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2026年1月14日～2026年7月10日

	第8期～第13期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド	0.02	0.022	312	446

(注) 単位未満は切り捨てています。ただし、口数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第8期～第13期
	ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	132,807千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	123,511千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.07

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2026年1月14日～2026年7月10日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2026年7月10日現在

種類	第7期末	第13期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド	89,654	89,342	138,668

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ高株主還元日本株マザーファンド全体の口数は89,342千口です。

ニッセイ高株主還元日本株ファンド（毎月決算型）

投資信託財産の構成

2026年7月10日現在

項目	第13期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド	138,668	99.9
コール・ローン等、その他	75	0.1
投資信託財産総額	138,743	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

	(2026年2月10日)	(2026年3月10日)	(2026年4月10日)	(2026年5月11日)	(2026年6月10日)	(2026年7月10日)現在
項目	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末	第12期末	第13期末
(A)資産	126,982,169円	124,159,269円	128,475,882円	129,867,864円	131,805,155円	138,743,517円
コール・ローン等	50,574	54,435	64,710	49,197	61,591	67,335
ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド(評価額)	126,919,696	124,092,728	128,403,786	129,799,253	131,730,553	138,668,084
未収入金	11,899	12,106	7,386	19,414	13,011	8,098
(B)負債	64,887	68,883	74,584	76,063	77,186	78,104
未払信託報酬	63,885	67,821	73,432	74,895	75,994	76,899
その他未払費用	1,002	1,062	1,152	1,168	1,192	1,205
(C)純資産総額(A-B)	126,917,282	124,090,386	128,401,298	129,791,801	131,727,969	138,665,413
元本	90,000,000	90,000,000	90,000,000	90,000,000	90,000,000	90,000,000
次期繰越損益金	36,917,282	34,090,386	38,401,298	39,791,801	41,727,969	48,665,413
(D)受益権総口数	90,000,000口	90,000,000口	90,000,000口	90,000,000口	90,000,000口	90,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,102円	13,788円	14,267円	14,421円	14,636円	15,407円

(注) 当作成期首元本額 90,000,000円
 当作成期中追加設定元本額 -円
 当作成期中一部解約元本額 -円

損益の状況

	(第8期 2026年1月14日～2026年2月10日)	(第11期 2026年4月11日～2026年5月11日)				
	(第9期 2026年2月11日～2026年3月10日)	(第12期 2026年5月12日～2026年6月10日)				
	(第10期 2026年3月11日～2026年4月10日)	(第13期 2026年6月11日～2026年7月10日)				
項目	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期
(A)配 当 等 収 益	1円	-円	3円	4円	5円	9円
受 取 利 息	1	-	3	4	5	9
(B)有価証券売買損益	8,136,398	△ 2,758,013	4,385,493	1,466,562	2,013,349	7,015,539
売 買 益	8,136,655	719	4,386,110	1,467,155	2,013,349	7,015,539
売 買 損	△ 257	△ 2,758,732	△ 617	△ 593	-	-
(C)信 託 報 酬 等	△ 64,887	△ 68,883	△ 74,584	△ 76,063	△ 77,186	△ 78,104
(D)当期損益金(A + B + C)	8,071,512	△ 2,826,896	4,310,912	1,390,503	1,936,168	6,937,444
(E)前期繰越損益金	28,845,770	36,917,282	34,090,386	38,401,298	39,791,801	41,727,969
(分配準備積立金)	(28,845,770)	(36,958,492)	(36,958,492)	(38,401,298)	(39,791,801)	(41,727,969)
(繰越欠損金)	(-)	(△ 41,210)	(△ 2,868,106)	(-)	(-)	(-)
(F)合 計(D + E)	36,917,282	34,090,386	38,401,298	39,791,801	41,727,969	48,665,413
次期繰越損益金(F)	36,917,282	34,090,386	38,401,298	39,791,801	41,727,969	48,665,413
分配準備積立金	36,958,492	36,958,492	38,401,298	39,791,801	41,727,969	48,665,413
繰越欠損金	△ 41,210	△ 2,868,106	-	-	-	-

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	0円	1,416,133円	23,360円	10,745円	418,358円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	8,112,722円	0円	26,673円	1,367,143円	1,925,423円	6,519,086円
(c) 信託約款に定める収益調整金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	28,845,770円	36,958,492円	36,958,492円	38,401,298円	39,791,801円	41,727,969円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	36,958,492円	36,958,492円	38,401,298円	39,791,801円	41,727,969円	48,665,413円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	4,106.50円	4,106.50円	4,266.81円	4,421.31円	4,636.44円	5,407.27円
(g) 分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円	0円	0円	0円	0円	0円

お知らせ

■自社による当ファンドの設定解約状況

当作成期における自社による当ファンドの設定解約はありません。なお当作成期末現在、自社による当ファンドの保有残高は138百万円（元本90百万円、ファンド全体の100.0%）です。当社は当該保有分を解約することがあります。

■約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

（2026年4月1日）

運用者情報

■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ニッセイ高株主還元日本株ファンド（毎月決算型）



<https://www.nam.co.jp/fundinfo/nkknfm/main.html>

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式	
信 託 期 間	2025年6月23日～2030年1月10日	
運 用 方 針	ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内の金融商品取引所に上場している株式のなかから、配当と自社株買いに着目し、総還元利回りが高い30銘柄程度に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ高株主還元日本株ファンド（毎月決算型）	ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド受益証券
	ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド	国内の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます）している株式
運 用 方 法	ニッセイ高株主還元日本株ファンド（毎月決算型）	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資は行いません。
	ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。 ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。	

ニッセイ高株主還元日本株 マザーファンド

運用報告書

第 3 期

(計算期間：2026年1月14日～2026年7月10日)

運用方針

- ①国内の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます）している株式へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
- ②銘柄選定にあたっては、配当と自社株買いに着目し、総還元利回りが高い銘柄へ投資を行います。

主要運用 対象

国内の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます）している株式

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。

- ・株式への投資割合には、制限を設けません。
- ・外貨建資産への投資は行いません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

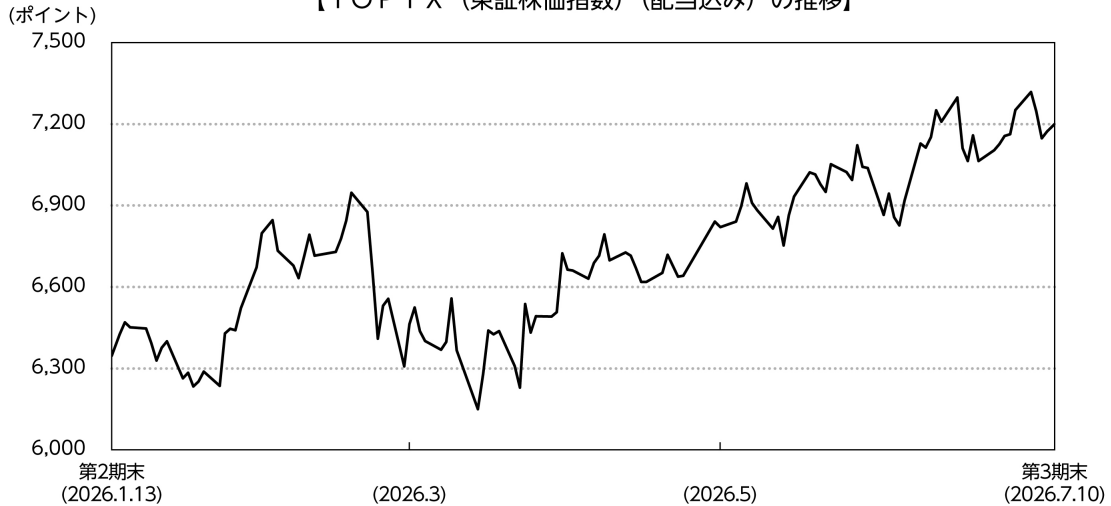
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2026年1月14日～2026年7月10日

国内株式市況

【TOPIX（東証株価指数）（配当込み）の推移】



(注) FactSetのデータを使用しています。

国内株式市場は期を通じて見ると上昇しました。

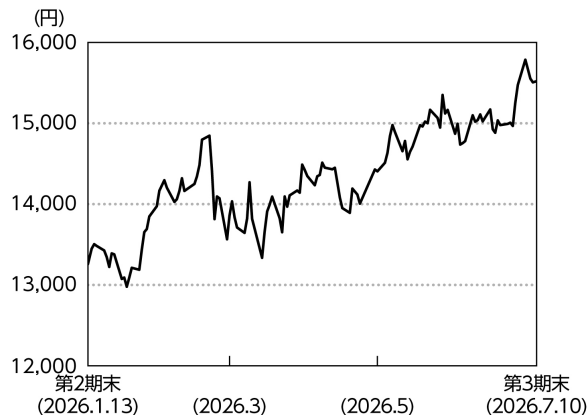
期初より高市政権の政策推進への期待が強まり、半導体関連銘柄などを中心に株価は上昇しました。

しかし、3月の中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇により物価上昇懸念が高まったことから、下落に転じました。

4月から6月にかけては、米国とイランの停戦期待や堅調な企業業績などが支えとなり、再び上昇基調が続きました。

当期末にかけては、半導体やAI関連銘柄のこれまでの急上昇に対する利益確定売りや地政学リスクの再燃で軟調に推移しましたが、期初を上回る水準で当期末を迎えました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 1月下旬から2月にかけて、高市内閣の政策推進への期待などを背景に株価が上昇したこと
- ・ 4月から6月にかけて、米国とイランの停戦期待や堅調な国内企業業績などを背景に株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬から下旬にかけて、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇により物価上昇懸念が高まったことから株価が下落したこと

ポートフォリオ

国内の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます）している株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行いました。

当期も国内の株式のなかから、配当と自社株買いに着目し、総還元利回りが高い30銘柄程度に投資しました。

また、6月末時点における総還元利回りは6.6%、配当利回りは2.9%となっています。

(注) 総還元利回りは時価総額に対する配当額と自社株買い額の合計（＝総還元）を評価する指標であり、各種データに基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主な売買銘柄は以下の通りです。

	銘柄	判断理由等
買付	クレディセゾン、王子ホールディングス、ネクソンなど	投資ユニバース内における総還元利回りが高いため
売付	セイコーエプソン、NIPPON EXPRESSホールディングスなど	投資ユニバース内における総還元利回りが低いため

参考指数との差異

当マザーファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はＴＯＰＩＸ（東証株価指数）（配当込み）です。

当期の基準価額騰落率は+17.1%となり、参考指数騰落率（+13.5%）を上回りました。

これは個別銘柄選択において、シチズン時計やＩＮＰＥＸ等がプラスに寄与したことによるものです。

今後の運用方針

国内の金融商品取引所に上場している株式のなかから、配当と自社株買いに着目し、総還元利回りが高い30銘柄程度に投資を行います。

お知らせ

■約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

（2026年4月1日）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	参考指数	期中騰落率	株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
(設定日)	円	%		%	%	%	百万円
2025年6月23日	10,000	－	10,000	－	－	－	90
1期(2025年7月10日)	10,214	2.1	10,161	1.6	91.2	9.2	91
2期(2026年1月13日)	13,257	29.8	13,149	29.4	95.8	3.0	118
3期(2026年7月10日)	15,521	17.1	14,920	13.5	97.0	2.9	138

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 参考指数はＴＯＰＩＸ（東証株価指数）（配当込み）であり、設定時を10,000として指数化しています。

(注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注4) 先物比率は買建比率－売建比率です。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	株式組入比率	株式先物比率
	円	%		%	%	%
(期首)2026年1月13日	13,257	－	13,149	－	95.8	3.0
1月末	13,212	△ 0.3	13,031	△ 0.9	95.9	3.0
2月末	14,797	11.6	14,395	9.5	96.1	3.0
3月末	13,652	3.0	12,908	△ 1.8	95.0	2.9
4月末	14,118	6.5	13,756	4.6	97.0	3.0
5月末	15,167	14.4	14,613	11.1	97.1	2.9
6月末	15,007	13.2	14,767	12.3	96.8	3.0
(期末)2026年7月10日	15,521	17.1	14,920	13.5	97.0	2.9

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2026年1月14日～2026年7月10日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	0円	0.000%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（14,346円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2026年1月14日～2026年7月10日

(1) 株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内		千株	千円	千株	千円
	上場	34	67,762	24	65,045

(注1) 金額は受渡代金です。以下同じです。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種類別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
国内		百万円	百万円	百万円	百万円
	株式先物取引	7	7	－	－

(注) 単位未満は切り捨てています。

主要な売買銘柄

2026年1月14日～2026年7月10日

株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
クレディセゾン	1	4,414	4,414	シチズン時計	2	6,601	2,276
王子ホールディングス	5	4,373	795	セイコーエプソン	2	5,679	2,704
ネクソン	2	4,354	2,177	NIPPON EXPRESSホールディングス	1	5,563	5,058
クラレ	2	4,349	1,673	三菱商事	1	5,440	5,440
S U B A R U	1	4,332	2,407	I N P E X	1	5,174	4,704
ENEOSホールディングス	3	4,323	1,201	三井物産	0.800	4,972	6,215
T & Dホールディングス	0.900	4,321	4,802	A G C	0.700	4,831	6,902
三菱商事	1	4,293	4,293	ニコン	2	4,693	2,235
トレンドマイクロ	0.800	4,274	5,343	本田技研工業	3	4,543	1,465
セブン&アイ・ホールディングス	2	4,239	1,927	日本精工	3	4,334	1,140

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2026年7月10日現在

(1) 国内株式

上場株式

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
鉱業(3.2%)			
I N P E X	1	1	4,369
パルプ・紙(3.3%)			
王子ホールディングス	-	5	4,488
化学(3.3%)			
クラレ	-	2	4,383
石油・石炭製品(3.3%)			
出光興産	3	-	-
ENEOSホールディングス	-	3	4,507
ガラス・土石製品(3.1%)			
A G C	0.700	-	-
日本電気硝子	0.600	0.700	4,148
機械(6.8%)			
アマダ	2	1	4,519
日本精工	3	-	-

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
ジェイテクト	2	2	4,642
電気機器(3.2%)			
セイコーエプソン	1	-	-
キヤノン	0.800	1	4,340
輸送用機器(17.1%)			
デンソー	1	2	4,447
いすゞ自動車	1	2	4,698
三菱自動車工業	9	13	5,029
本田技研工業	2	-	-
S U B A R U	-	1	4,486
ヤマハ発動機	3	3	4,352
精密機器(3.4%)			
ニコン	2	-	-
オリンパス	1	2	4,559
シチズン時計	2	-	-

ニッセイ高株主還元日本株マザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
その他製品(10.3%)			
TOPPANホールディングス	0.700	0.900	4,680
大日本印刷	1	1	4,752
ヤマハ	3	3	4,485
電気・ガス業(3.1%)			
東京瓦斯	0.600	0.700	4,176
陸運業(3.5%)			
ヤマトホールディングス	1	2	4,665
海運業(9.5%)			
日本郵船	0.700	0.800	4,228
商船三井	0.800	0.800	4,259
川崎汽船	1	1	4,295
情報・通信業(6.7%)			
ネクソン	-	2	4,564
トレンドマイクロ	-	0.700	4,393
KDDI	1	-	-
卸売業(3.3%)			
三井物産	0.800	-	-
三菱商事	1	1	4,409

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		株数	株数	評価額
		千株	千株	千円
小売業(3.3%)				
セブン&アイ・ホールディングス		-	2	4,447
証券、商品先物取引業(3.6%)				
野村ホールディングス		2	3	4,783
保険業(6.6%)				
MS&ADインシュアランスグループホールディングス		1	1	4,428
T & Dホールディングス		-	0.900	4,424
その他金融業(3.4%)				
クレディセゾン		-	1	4,582
合計	株数・金額	59	69	134,546
	銘柄数<比率>	30	30	<97.0%>

(注1) 銘柄欄の()内は、当期末における国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当期末	
		買建額	売建額
国内		百万円	百万円
	ミニTOPIX	4	-

(注) 単位未満は切り捨てています。

投資信託財産の構成

2026年7月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	134,546	96.9
コール・ローン等、その他	4,310	3.1
投資信託財産総額	138,857	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年7月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	138,674,816円
コール・ローン等	3,438,173
株式(評価額)	134,546,520
未収入金	214,140
未収配当金	420,800
差入委託証拠金	55,183
(B) 負債	8,098
未払解約金	8,098
(C) 純資産総額(A - B)	138,666,718
元本	89,342,236
次期繰越損益金	49,324,482
(D) 受益権総口数	89,342,236口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,521円

- (注1) 期首元本額 89,654,346円
期中追加設定元本額 20円
期中一部解約元本額 312,130円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
ニッセイ高株主還元日本株ファンド(毎月決算型) 89,342,236円

損益の状況

当期(2026年1月14日～2026年7月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	1,860,631円
受取配当金	1,849,050
受取利息	11,578
その他収益金	3
(B) 有価証券売買損益	17,936,250
売買益	20,396,394
売買損	△ 2,460,144
(C) 先物取引等損益	464,510
取引益	464,510
(D) 当期損益金(A + B + C)	20,261,391
(E) 前期繰越損益金	29,196,991
(F) 追加信託差損益金	2
(G) 解約差損益金	△ 133,902
(H) 合計(D + E + F + G)	49,324,482
次期繰越損益金(H)	49,324,482

- (注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。